



## 癒し癒される看護実践、「熱布バックケア」を一人でも多くの人へ

内山 孝子 准教授

熱布バックケアは、後頸部から腰部に熱布を10分程度密着させ、その後、水分を拭いマッサージをします。皮膚を介した温熱刺激は、痛みの緩和・便秘解消・換気量増大・食欲増進・闘病意欲向上など全身への作用が期待できる心地よいケアです。この人間的で基本的なケアを普及するため2017年にプロジェクトを立ち上げ活動しています。ケアの実践者である看護師が熱布バックケアを体感することが重要です。プロジェクトに参加した看護部や看護師の変化のプロセスの分析と熱布バックケア事例集積をしています。Covid-19重症患者への対応で疲弊したICU看護師の要請から出張講習会を開催し、その後自信を取り戻していくプロセスが明らかになっています。



## ウクライナ避難者の健康支援

神原 咲子 教授

去る2022年2月24日にウクライナ侵攻が始まり、多くの人々が神戸にも避難してきました。本学では専門家やNGOの人々と意見交換や、2回の異文化交流イベントを行いました。神戸市外大の学生や近隣に住む学生らが参加し、避難者も留学生が多く、このイベントをきっかけにSNSなどを通じた新たな多文化コミュニティも生まれました。重要なことは、「どこの誰へ」の対策ではなく、誰もがコミュニティにアクセスできる方法、交流が起こりやすくする方策を言語と文化を超えて一緒に解決するというソーシャルケアでした。神戸が長い歴史のなかで培ってきた災害・多文化受容の強みを活かした地元創成看護の芽であり大切に育てたいと思います。

～2022年度国家試験 合格おめでとう～

看護師  
99%

保健師  
95%

助産師  
100%

## 新サークル Ponteの紹介

こんにちは、私たちは2023年5月にできたボランティアサークルPonte（ポンテ）です。「負担の少ないボランティアの実践」を主軸として、周辺の大学の皆さんと一緒に活動しています。

現在は学園都市駅近くで月に一回行われている、学生向け食料品配布に尽力しています。都合が合う時だけの参加でも歓迎ですので、Ponteを通じてボランティアと学園都市に目を向けてくれたら嬉しいです。



## 修了生からのメッセージ

神戸市（西区保健福祉課） 保健師 徳 涼羽

神戸市に入庁し、2ヶ月が経ちました。緊張した日々の中で、本学で学んだ生活史や価値観を知ることの重要性が身に沁みて分かり、憧れの保健師になれたことを実感しています。在学中は信頼できる先生や友人に恵まれ、幾度となく寄り添い、支えていただきました。先生方が看護観や選択肢を広げてくださったように、私も困っている方の選択肢となり、地域の方々のその人らしさや強みを護れる保健師になれるよう、一生懸命頑張ります。

### 学長挨拶



学長 江川 幸二

4月に学長に就任致しました。私の抱負は、神戸市看護大学をマグネット・カレッジにすることです。マグネット・カレッジとは、磁石のように学生・保護者の皆様や、教職員、地域住民の方々を惹きつける魅力的な大学を意味します。学生・保護者にとって魅力的な教育環境づくり、教職員がやりがいを持ち教育・研究活動を行うための職場環境づくり、地域住民がより健康に生活できる地域貢献の創造等を目指してチャレンジしていきたいと考えています。